

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2007 アプリケーション「専門知識＋記述式問題」重点対策

No	訂正箇所	誤	正
1	P121 Exercise2-1 (選択肢)	<p>ソフトウェアの要求定義や分析・設計で用いられる技法に関する記述のうち、適切なものはどれか。</p> <p>ア 決定表は、条件と処理を対比させた表形式で論理を表現したものであり、複雑な条件判定を伴う要求仕様の記述手段として有効である。</p> <p>イ 構造化チャートは、システムの“状態”の種別とその状態が遷移するための“要因”との関係を分かりやすく表現する手段として有効である。</p> <p>イ 構造化チャートは、システムの“状態”の種別とその状態が遷移するための“要因”との関係を分かりやすく表現する手段として有効である。</p> <p>エ 制御フロー図は、データの“源泉, 吸収, 流れ, 処理, 格納”を基本要素としており、システム内のデータの流れを表現する手段として有効である。</p>	<p>ソフトウェアの要求定義や分析・設計で用いられる技法に関する記述のうち、適切なものはどれか。</p> <p>ア 決定表は、条件と処理を対比させた表形式で論理を表現したものであり、複雑な条件判定を伴う要求仕様の記述手段として有効である。</p> <p>イ 構造化チャートは、システムの“状態”の種別とその状態が遷移するための“要因”との関係を分かりやすく表現する手段として有効である。</p> <p>ウ 状態遷移図は、DFD に“コントロール変換とコントロールフロー”を付加したものであり、制御系システムに特有な処理を表現する手段として有効である。</p> <p>エ 制御フロー図は、データの“源泉, 吸収, 流れ, 処理, 格納”を基本要素としており、システム内のデータの流れを表現する手段として有効である。</p>